



校報しののめ 4月号

令和7年4月8日 松山市立東雲小学校



校長 山内 望

この度の異動で愛媛大学教育学部附属特別支援学校より転任してまいりました、校長の山内望(のぞむ)です。これまで、隣接する松山市教育研修センターには訪れる機会があり、東雲小学校の美しい校舎はたびたび目にしてきました。しかし、まさかそこで自分が勤務するときに来ようとは想像もしていませんでした。

着任することが決まって、真っ先に東雲小学校のホームページを開きました。色とりどりの花が咲き誇っている写真が、私の不安な気持ちを和らげてくれました。そして、校歌のページを開きました。私の第一印象は「なんて、すてきな歌詞なんだろう!」というもので、「早く子どもたちと歌いたい」という気持ちが湧いてきました。と同時に、1番の「かがやく子です 光です」、2番の「あかるい子です 希望です」、3番の「雄々しい子です 誇りです」の言葉には、これまで東雲小学校に関わり、支え導いてこられた皆様方の願いが込められているものと、背筋が伸びる思いがしました。これまで本校の子どもたちに寄せていただきました御厚情に感謝いたしますとともに、今後とも、これまでと変わらぬ温かい御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和7年度は、44名の新生を迎え、くすのき学級を含む16学級337名の子どもたちでスタートしました。今年度は、支援員やアシスタント等を含め、38名のスタッフ全員が心を一つにし、本校に通う全ての子どもたちが、「安全・安心」「今日に満足し、明日を心待ちにできる」楽しい学校生活を送れるように努めてまいります。

本日は、始業式と入学式を行いました。始業式では、子どもたちに三つのことを話しました。

一つ目は、「命を大切にすること」です。一つしかない大切な命をいただいて、この世に生まれてきたことを忘れず、命を大切にしてほしいこと。命を大切に、元気な毎日を過ごすために、「早寝、早起き、朝ご飯」を毎日続けること。そして、交通事故に気を付けること。狭い道や交差点、踏切、車がたくさん通る道があるので、特に危ない場所を家の方にも聞いておこうと話しました。

二つ目は、「具体的なめあてを立てて頑張る」ことです。新学期を迎えるにあたって、これまでの自分を振り返り、これから頑張りたいことをできるだけ具体的な目標にして、努力を続けてほしいと話しました。私は、「毎日、相手の顔を見て、明るい挨拶をする」ことがめあてです。

三つ目は、「皆さんが楽しい学校生活を作っていく」ということです。楽しい学校生活を送るために、代表委員会や委員会活動などの中で「みんなで取り組みたいこと」や「みんなで気を付けていきたいこと」などを話し合い提案してほしいことや、先生方は皆さんの意見を大切に受け止めたり、実現するための手助けをしたりするということを話しました。

子どもたちが今感じている「できるようになりたい!」「頑張るぞ!」という「伸びたい気持ち」を、御家庭や地域の皆様の御協力をいただきながら、全力で支援していきます。1年間、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

校歌	古川 栄一
作詞	石橋 真礼生
作曲	

一 しっかと肩を くみ合って
仰ぐお城の きよい空
高いのぞみに もえながら
はげむ みんなは「しののめ」の
かがやく子です 光です

二 ゆたかな歴史 うけついで
むすぶ はえある校旗 ほたけのもと
つよく正しく うつくしく
そだつ みんなは「しののめ」の
あかるい子です 希望です

三 のびる日本の あけぼのに
はばたく明日の 若い鳩
どんな風にも 嵐にも
負けぬ みんなは「しののめ」の
雄々しい子です 誇りです